



デザインとアイデアでお客様の笑顔を作る

～株式会社See Visions～ 秋田市



社長の東海林氏

秋田市にある株式会社See Visions（シービジョンズー社長・東海林諭宣氏）は、インテリアやウェブのデザイン、飲食店の経営、リノベーションの企画・施工、情報誌の出版などを手掛けている。

●デザインを中心に幅広い業務内容

社長の東海林氏は美郷町出身で、都内の大学卒業後、飲食店チェーンに勤務し店舗デザインやホームページ制作のノウハウを学んだ。退職しフリーランスのデザイナーとして経験を積んだ後、2006年に秋田県に戻り起業した。2019年5月現在、従業員数は13名で、グラフィックデザイナー、ウェブデザイナー、一級建築士、編集者など多彩な人材が揃っている。40代以下の子育て世代の社員が多いため、時短勤務を導入しているほか、子連れ出勤をする社員向けにオフィス内にキッズスペースを設けている。

●県民に身近なデザインを多数制作

グラフィックデザインでは動物園や美術館の

【会社概要】

- 1 代表取締役 東海林 諭宣
- 2 所在地 秋田市南通亀の町4-15
ヤマキウビル
- 3 事業内容 デザイン（グラフィック、ウェブ、インテリア）、飲食店経営、リノベーション企画・施工、情報誌出版、ブランドコンサルティングほか
- 4 設立 2006年5月
- 5 資本金 500万円
- 6 従業員 13名
- 7 TEL 018-836-3331
- 8 FAX 018-838-0039
- 9 URL <http://www.see-visions.com>

企画告知ポスター、飲食店のメニューや看板などのデザイン、ウェブではホテルやクリニックなどのホームページの制作を手掛けている。また、店舗や会社の内装・外装を行うインテリアでは、本県の空の玄関口である秋田空港の国内線ターミナルビル内レストランのリニューアルデザインを請け負った。

なお、秋田ノーザンハピネッツが本県初のプロスポーツチームとして誕生した際、ロゴマークに同社デザインが選出された。チーム名の印象を表したピンク色に稲穂やバスケットボールをあしらったもので県民に広く親しまれている。

●空き物件をリノベーションし飲食店を経営

同社は、秋田市南通亀の町の小さな路地にあった空き物件のリノベーション(※)を行い、2013年にスペイン風居酒屋「酒場カメバル」、2014年にイタリア風居酒屋「サカナカメバル」(現在は閉店し店舗貸出中)、2018年にはパン屋「亀の町ベーカリー」を開いた。これらの開業により、南通亀の町では、若年層を中心に訪れる人が増加している。

(※) リノベーションとは、空きビルや空き家を改修し、新たな価値を付加すること

●エリアリノベーションで賑わいを取り戻す

リノベーションの動きが広がり地域全体が賑わいを取り戻すことを「エリアリノベーション」といい、地域を再生する手法として全国で関心が高まっている。同社は、南通亀の町で築40年超の空き物件を所有する企業と協力し、エリアリノベーション事業に取り組んでいる。

まず、2015年10月に「ヤマキウビル」(55坪、3階建て)を改修し複合施設をオープンした。1階は食料雑貨店を併設したカフェとクラフトビール専門店で、2階は貸しオフィスとし、3階には自社オフィスを構えた。また、今年1日には、隣接する「ヤマキウ南倉庫」(200坪、2階建て)を改修し新たな複合施設をオープンした。1階は美容院、ネイルサロン、生花店、雑貨店など10店舗が入居するテナント部分に加え、多目的ホール、ギャラリー、ライブラリーを設置した。2階は貸しオフィスとコワーキングスペースとし、利用者同士の交流・協働による仕事上の相乗効果を期待している。

集客力向上の仕掛けとして、施設内カフェで、地域づくりをテーマにトークイベント



6月にオープンしたヤマキウ南倉庫

“DISCOVER KAMENOCHO”を定期開催している。会場では、参加者が県内外から迎えるゲスト講師と膝を交え地域への想いや未来像を語り合う姿がみられる。また、駐車場では食料品や雑貨を扱うマルシェやライブを不定期に開いている。

東海林社長は、「私たちがデザインしたモノやコトをきっかけに、人と人が出会い交流を深める機会が生まれている。交流人口の増加にともない周辺の空き物件も減少し、地域に活気が戻り始めている」と、エリアリノベーション事業に手応えを感じている。

なお、ヤマキウ南倉庫の改修費用の一部に関し、クラウドファンディング「FAN AKITA」で支援金を募ったところ、目標額を大きく上回る金額が集まった。

●今後の目標

同社は現在、秋田市を中心とする仕事が多いが、今後は市外にも活動の場を広げる方針である。同氏は、「私たちのデザインとアイデアで県内各地域の問題や課題を取り除き、お客様を幸せにし、笑顔にしたい。企業、事業、商品など媒体は問わず、地域が活性化するようなデザインを続けていきたい」と、デザインを通じた地域貢献への意欲を語る。(相沢 陽子)

東海林社長からのひと言

お客様のニーズに最大限寄り添い、デザインにエゴを出さないことを心がけています。